

鶴岡市における地域ケア会議の取組み

平成 25 年 11 月 20 日（水）

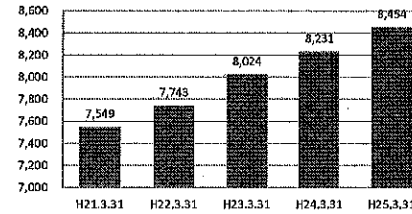
鶴岡市健康福祉部長寿介護課
地域包括支援センター

鶴岡市における 地域ケア会議の取組について

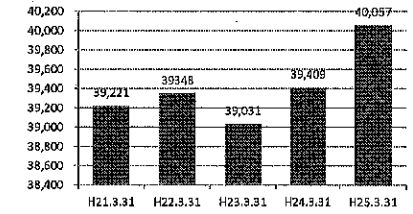
住み慣れた地域でその人らしく
いつまでも暮らし続ける仕組みづくりをめざして

どんどん増える鶴岡の要介護高齢者

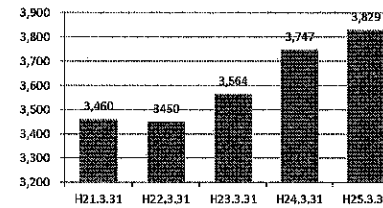
要介護認定者数



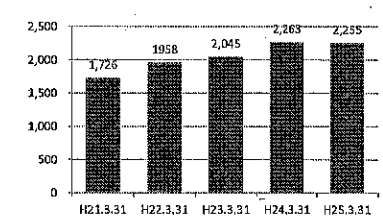
鶴岡市65歳以上人口推移



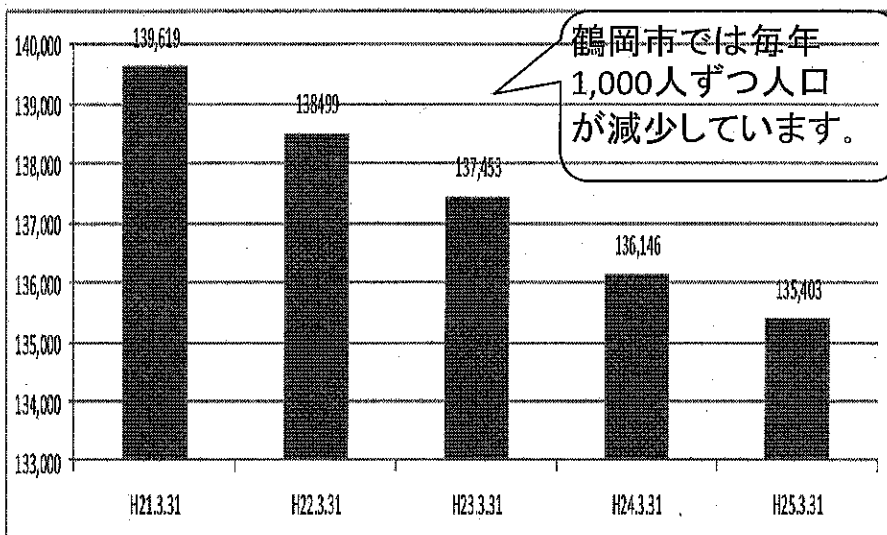
独居高齢者



在宅認知症高齢者



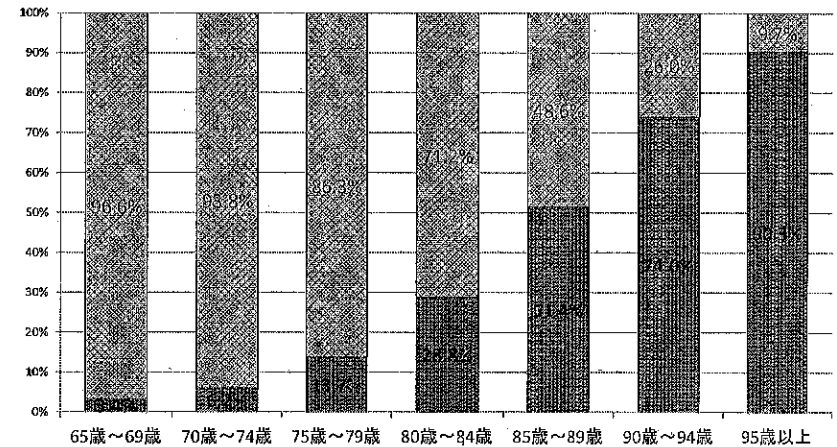
鶴岡市の人口の推移



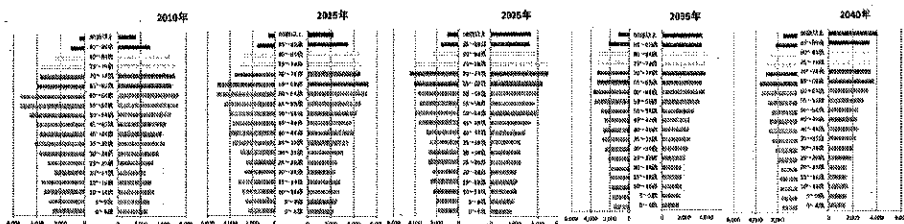
鶴岡市年齢階級別要介護等認定状況

H25.9.30

◆85歳以上になると6割が要介護認定



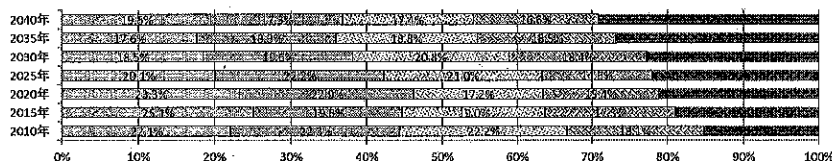
鶴岡市の高齢者の状況



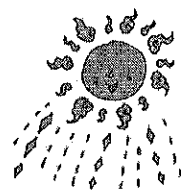
超高齢社会で超高齢者(85歳以上)が増加

●年齢階級別高齢者の割合 (H25.9.30)

■65～69歳 ■70～74歳 ■75～79歳 ■80～84歳 ■85歳以上



地域包括ケアシステム 「5つの構成要素」



「介護」「医療」「予防」という専門的なサービスの前提として「住まい」と「生活支援・福祉サービス」の整備がある

<地域包括ケア研究会>地域包括ケアシステムの構築における今後の検討のための論点 より

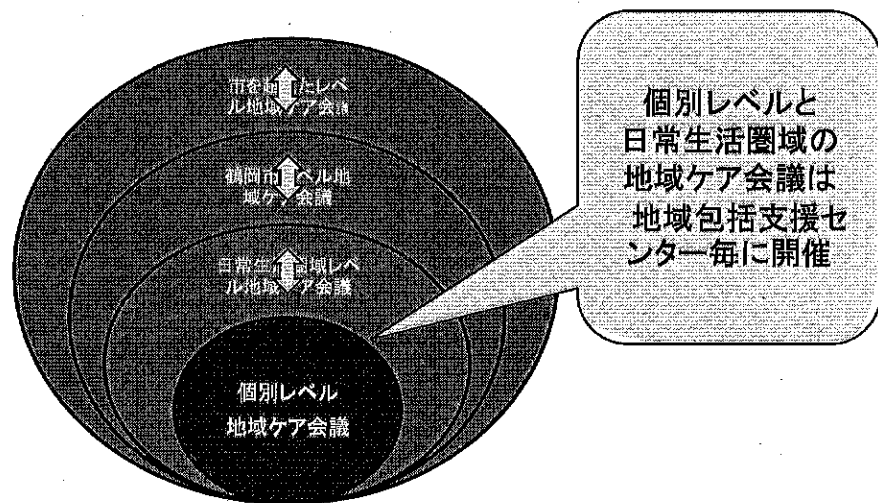
地域包括ケアシステム

- ・ 介護や支援を必要とする高齢者ができる限り住み慣れた地域での生活を継続できるように、支援を充実することが必要
- ・ 具体的には、高齢者のニーズに応じて、介護サービス、予防サービス、医療サービス、見守り等の生活支援サービス、住まいを適切に組み合わせて提供し、24時間365日を通じた対応が可能な「地域包括ケアシステム」を構築していく

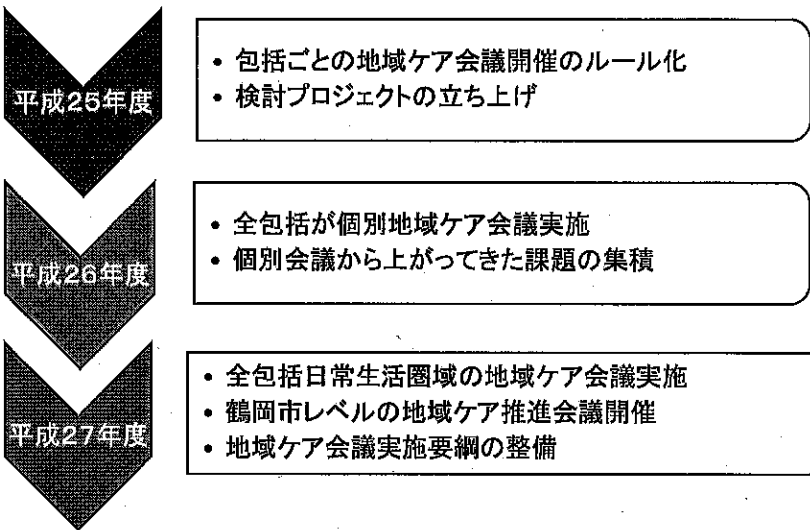
地域ケア会議は

- ・ 多職種 of 第三者による専門的視点を交えて、ケアマネジメントの質の向上を図り
- ・ 個別ケースの課題分析の積み重ねにより、地域課題を発見し
- ・ 地域に必要な資源開発や地域づくり、さらには介護保険事業計画への反映などの政策形成につなげる、地域包括ケアシステムの実現に向けたツールである。

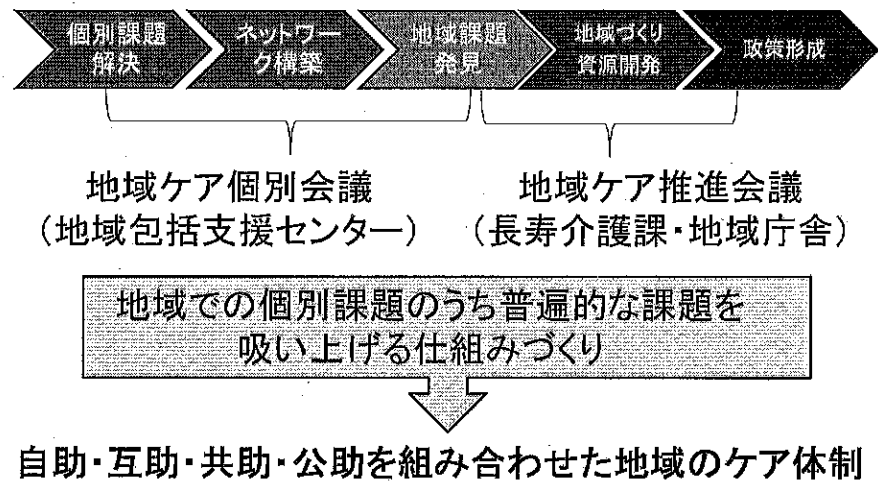
地域ケア会議の構成



鶴岡市における具体的取組スケジュール



地域ケア会議5つの機能



「地域ケア会議」これまでの取組み

・支援困難事例の検討会や、地域ケア会議と称した取り組みはそれぞれが行ってきた。しかし、そこには地域課題を吸い上げる仕組みがなかった。

そこで、テスト的に勉強会を行った。

1回目 平成25年1月30日

事例をとおして、効果的に実施について勉強

2回目 平成25年6月10日

身寄りのない独居高齢者の支援から個別課題の解決と、身元保証人のない施設入所の仕組みにつなげた。

平成25年度の取組み状況

H25.6.10 地域ケア会議(仮称)試行

事例:一人暮らしで身寄りのいない人の支援

成果:

①個別支援の方向性、リスクについて確認

②個別を超えた課題の対応

施設入所の手続きは、本人に判断能力があれば本人契約で可。

この判断を施設事業者部会へ拡大を図る。

「地域ケア会議」プロジェクト会議

- H25.9.26 第1回「地域ケア個別会議」のためのプロジェクト会議を開催

具体的取組にむけ、地域包括センターが実働部隊になり取組み、概ねの様式やマニュアルを作成することを決定。

- H25.10.24 第2回
2班に分かれ、マニュアル検討と様式検討班に分けて作業を行う。
- H25.11.28 第3回
それぞれが作成したものを持ち寄り検討を加える。

「地域ケア会議」プロジェクト会議

- 平成25年度中に各地域包括でマニュアルに基づき、検討した様式を活用して地域ケア会議を試行する。
- 更に検討を加え、平成26年度から本格的に稼働させる。
- 平成26年度中に、実施した地域ケア会議から地域課題を導き出し、生活圏域の課題として地域ケアネットワーク会議に提出し取り組みにつなげる。
- 平成26年度中に、地域ケア推進会議の稼働のための検討プロジェクトの立ち上げを図る。
- 平成27年度に、要綱制定し事業化する。

鶴岡市で開催している事業が「地域ケア会議」として果たす機能

会議名	内容	参集者	開催頻度	主催	個別課題解決機能	ネットワーク構築機能	地域課題発見機能	地域づくり資源開発機能	政策形成機能
1. 困難事例検討会	利用者及びケアマネジャー支援	当事者、親族・担当ケアマネ・関係機関	随時	各地域包括・包括連絡会	◎個別事例	◎フォーマルとインフォーマルの連携	○困難事例の蓄積	△	×
2. ケアプラン検証会議	ケアマネジャー支援	医師、管理栄養士、OT、介護福祉士、主任ケアマネ、行政職員 6名	3回/年	市、包括連絡会	◎個別事例 ◎ケアマネ課題	○関係機関とのネットワーク	◎独居加算の事例の課題を集積	△	×
3. 地域ケアネットワーク会議	地域ケアネットワークづくり	学区社協、民生委員、福祉協力員、町内会長等	随時	各包括健康課社協	○	◎地域の見守り等ネットワーク構築	◎地域の福祉関係者の意見交換	○社協、町内会等との地域づくり	△
4. 地域ケアネットワーク推進会議	エリア毎の地域ケアシステム構築担当者会議	社協健康課、地域庁舎包括	随時	各包括	○	◎	◎	△	×
5. 医療と介護の連携推進企画会議	医療・介護の連携の仕組みづくり	医師会、ケアマネ役員、病院連携担当、包括 21名	5回/年 必要時	包括連絡会	×	◎医療と介護のネットワーク構築	◎医療介護連携に係る課題	◎net4u 活用、様式等連携推進	△
6. 地域包括支援センター運営協議会・介護保険事業計画策定委員会	地域包括の運営支援、地域課題の検討	関係機関代表者	1~2回/年	市	×	△	◎集約された課題の検討	△	◎事業計画の策定事業の見直し、新規事業
7. 健康福祉部支援困難事例検討	課を超えた支援困難事例の検討	健康福祉部各課	2回/月	市	◎個別事例	○	○	△	◎